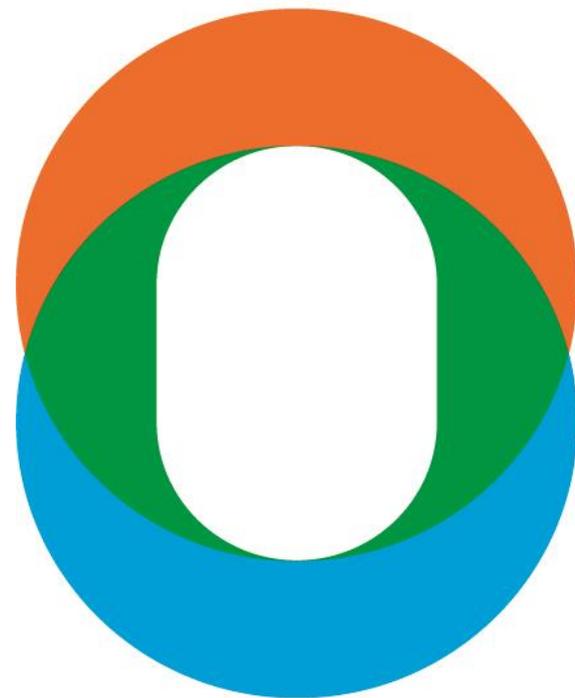


令和3年度第1回
世界に誇れる
環境先進都市
かめおか協議会

令和3年6月22日（火）

ともに生きる



プラごみゼロ

1 「かめおかプラスチックごみゼロ宣言」関連事業

- ① プラスチック製レジ袋の提供禁止に関する条例
- ② 紙袋の共同購入・個別購入補助事業
- ③ 「亀岡のおいしい水」プロジェクト
- ④ リバーフレンドリーレストランプロジェクト
- ⑤ 「リユース食器」利用促進事業
- ⑥ エコウォーカー事業
- ⑦ 河川漂着ごみモニタリング調査
- ⑧ 企業と連携した環境教育等事業

2 再生可能エネルギー普及事業

- ① かめおか脱炭素宣言
- ② 亀岡ふるさとエナジー(株)



かめおか
プラスチ
ックごみ
ゼロ宣言



1 かめおかプラスチックごみゼロ宣言」関連事業

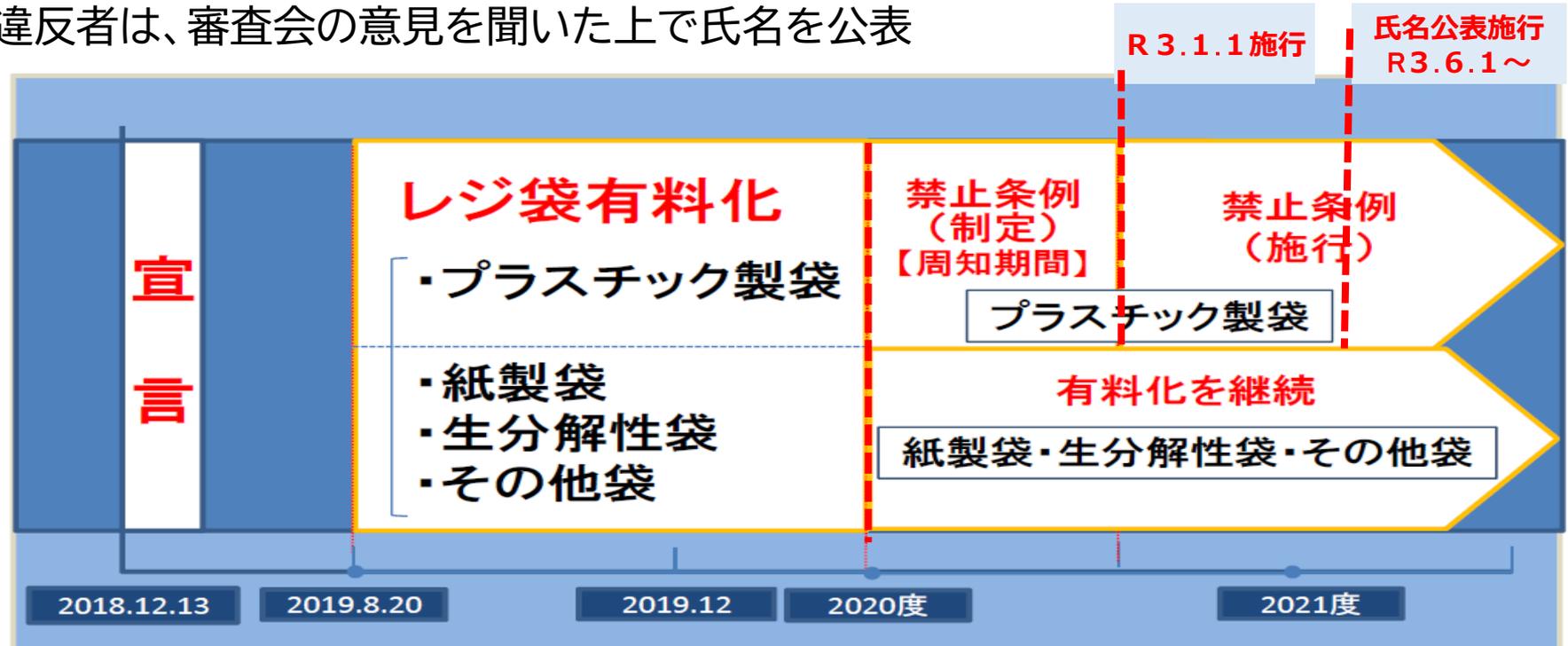
① プラスチック製レジ袋の提供禁止に関する条例

- ▶2019年8月20日 レジ袋有料化スタート
- ▶2020年3月24日 亀岡市プラスチック製レジ袋提供禁止に関する条例制定
- ▶2021年1月 1日 同条例施行



【条例の概要】

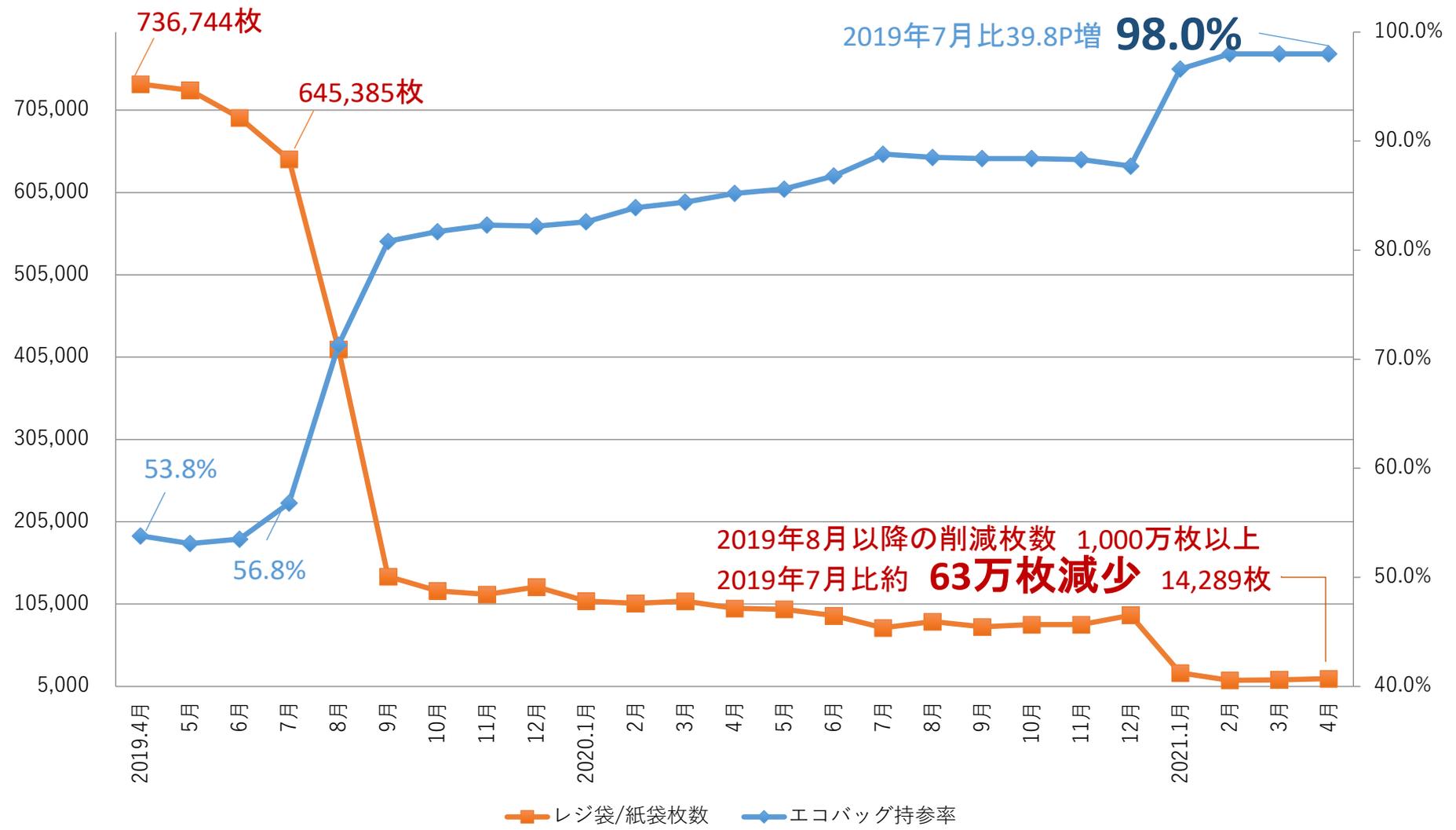
- ・事業者がプラスチック製レジ袋(生分解性の袋を除く)を提供することを禁止
- ・生分解性の袋であっても無償で提供することを禁止
- ・違反者は、審査会の意見を聞いた上で氏名を公表



1 かめおかプラスチックごみゼロ宣言」関連事業

① プラスチック製レジ袋の提供禁止に関する条例

エコバッグ持参率・レジ袋/紙袋枚数の状況



1 かめおかプラスチックごみゼロ宣言」関連事業

② 紙袋の共同購入・個別購入補助事業

▶ 共同購入紙袋



■共同購入事業（2020年度 233,800枚）

5種類（S、M、弁当用、L、2L）の紙袋を市内事業者が安価に購入できる4
よう紙袋の調達事業者に補助

■個別購入補助事業（2020年度 23件、826,773円）

市内事業者が独自に調達する紙袋の購入費用を個別に補助

補助率3分の1（1枚当たり10円を限度、各年度1回限り、上限1万枚）

※ 2021年12月31日までの購入分が対象（共同購入は在庫限り）

1 かめおかプラスチックごみゼロ宣言」関連事業

③ 「亀岡のおいしい水」プロジェクト

「ペットボトルの削減」を目指す「マイボトル持参」へのアプローチ

アクション1

公共施設7箇所にボトル型給水器を設置

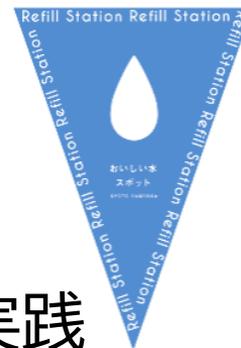
- ・2021年度、市内小・中・義務教育学校25校に設置予定



アクション2

市内の店舗と連携した給水スポットの拡大

- ・ウォーターサーバーを設置している市内の店舗を
亀岡のおいしい水給水スポットとして活用
- 登録店舗：23店（2021年6月18日現在）



アクション3

アプリで「水」を探す新しいライフスタイルの実践

- ・2021年4月9日、（一社）Social Innovation Japanと
「かめおか未来づくり環境パートナーシップ協定」を締結



1 かもおかプラスチックごみゼロ宣言」関連事業

④ リバーフレンドリーレストランプロジェクト



■環境に配慮した取組みを実践する市内飲食店等を募集し、市内外に情報発信⇒さらなる誘客につなげる

■環境先進都市・亀岡市のブランドイメージ向上と地域経済の活性化を目指す



【River Friendly Restaurants 認定基準】

- 次の認定基準をすべて満たす
 - ・発泡スチロール容器は使用しない
 - ・ごみの減量と適切なリサイクルに取り組む
 - ・店舗内での商品の提供には、使い捨て食器等を使用しない
 - ・テイクアウト時の紙袋やカトラリー類は、顧客の要望があった場合にのみ提供する
 - ・紙ストローは顧客が希望した場合にのみ提供する
 - ・無料でマイボトルに給水できる
- 「ペットボトル製品を販売しない」などのオプション基準を2以上満たす

■エコ・スポンサー料（登録料）として3,000円負担
⇒こども達の環境学習活動などに活用
⇒次世代の育成

登録店舗：11店
(2021年6月18日現在)

1 かめおかプラスチックごみゼロ宣言」関連事業

⑤ 「リユース食器」利用促進事業

Jリーグ 京都サンガF.C.のホームゲーム開催日に「かめきたサンガ広場」で開催される「かめおかecoマルシェ」など、市内で開催されるイベントで使用するリユース食器の借り上げ費用に対して補助金を交付



亀岡市リユース食器利用促進補助金の概要



- 対象者
 - ①市内でイベントを主催する団体及び個人
 - ②市内で開催するイベントに出店する団体及び個人
- 対象事業
 - 市内で開催されるイベントにおいて、リユース食器を合計100個以上利用する事業
- 補助率
 - リユース食器の借上げ費用の3分の2以内（上限20万円）
（2020年度 6件、121,650円）

1 かめおかプラスチックごみゼロ宣言」関連事業

⑥ エコウォーカー事業

現在登録者数 654名 (2021.6.18現在)

Kameoka Kyoto Japan



新感覚の
清掃活動

エコウォーカー募集



◆エコウォーカーとは

▣エコウォーカーは、ウォーキングしながら行う、身近で気軽に自由な清掃活動です。

◆活 動

▣それぞれが自由な時間・タイミングで、気軽にウォーキング&ごみ拾いへGO！！

▣収集が困難な不法投棄や大量のごみを発見したときは、環境政策課へ通報！！

◆応募方法

▣応募用紙を、亀岡市役所環境政策課へ！！

※FAX、メール可
(22-3809/kankyo-soumu@city.kameoka.lg.jp)

詳細・応募用紙はこちら



問：環境政策課 ☎25-5024

ともに生きる



亀岡市は、世界に誇れる『環境先進都市』を目指します。



1 かめおかプラスチックごみゼロ宣言」関連事業

⑦ 河川漂着ごみモニタリング調査

■事業概要

河川の流れを阻害しないフロートを設置し、漂着ごみのサンプリングを実施。

■対象河川

西川（篠町）、年谷川（保津町）、雑水川（南郷町）、犬飼川（宇津根町）、千々川（千代川町、護岸改修工事に伴い中止中）



1 かめおかプラスチックごみゼロ宣言」関連事業

⑧ 企業と連携した環境教育等事業【ソフトバンク(株)】

➤ 保津小学校で外国語(英語)学習等に活用
(2020年10月～)



顔認証検温システム



BCome+(保健センター)

SoftBank

1 かめおかプラスチックごみゼロ宣言」関連事業

⑧ 企業と連携した環境教育等事業【(株)ユニクロ】



2020.9.11 亀岡市立南桑中学校



FAST RETAILING

2020年度
“届けよう、服のチカラ”
プロジェクト

市内の中学校向け授業

1 かめおかプラスチックごみゼロ宣言」関連事業

⑧ 企業と連携した環境教育等事業【BRITA japan(株)】

亀岡市とBRITA Japan (株)は2020年6月30日に
環境および**教育事業**での包括連携協定を締結いたしました。

PRESS RELEASE

報道関係各位

2020年6月30日
亀岡市・BRITA Japan株式会社

環境先進都市・亀岡市の使い捨てプラスチックごみゼロを浄水ボトルや教材等で促進

亀岡市とBRITA Japanが包括連携協定を締結

環境教育用教材の共同開発 & マイボトル普及の強化

亀岡市（市長：桂川孝祐）とドイツ生まれの家庭用浄水器メーカーBRITA Japan株式会社（東京都中央区、代表者：マイケル・マギー）は、環境及び教育事業での包括連携に関する協定を締結したことをお知らせします。本連携に伴い、亀岡市は「かめおかプラスチックごみゼロ」の取り組みをさらに強化し、給水スポットの整備やマイボトルの普及の強化を予定しています。また、亀岡市とBRITA Japanは、環境関連イベントでの浄水ボトルのサンプリングの実施、さらには、亀岡市内の学校に向けた環境教育用教材の共同開発を進めてまいります。



2 再生可能エネルギー普及事業

① かめおか脱炭素宣言

- ・ゼロカーボンシティ388自治体
(2021年5月20日現在)
- ・京都府内の表明自治体は、京都府、京都市、与謝野町、宮津市、大山崎町、京丹後市、京田辺市、亀岡市、福知山市の9自治体)

未来につなごう 世界に誇れる持続可能な
環境先進都市 かめおか



2 再生可能エネルギー普及事業

① かめおか脱炭素宣言

近年、地球温暖化が原因とされる気候変動により、猛暑、干ばつ、集中豪雨や大型台風などの自然災害が多発し、気候変動がもたらす異常気象の影響は深刻さを増しています。

2015年に合意されたパリ協定では、「平均気温上昇の幅を2度未満とする」目標が国際的に共有され、2018年に公表されたIPCC（国連の気候変動に関する政府間パネル）の特別報告書では、「気温上昇を2度よりリスクの低い1.5度に抑えるためには、**2050年までにCO2の実質排出量をゼロにすることが必要**」とされています。

このような背景を受け、SDGs未来都市に選定された都市として、本市の豊かな自然環境を未来に引き継ぎ、暮らしと社会を持続可能なものとしていくために、**2050年の脱炭素社会の実現に向けて、国・府と連携し、市民や事業者のみなさまと共に、CO2排出量実質ゼロを目指し、世界に誇れる環境先進都市づくり**に取り組んでまいります。

令和3年2月15日

亀岡市長 桂川 孝裕

市の方針として、**公共施設への再生可能エネルギーの導入率を100%**とすることを目指し、再生可能エネルギーの利用促進に努めています。

（亀岡市役所温暖化対策基本方針）

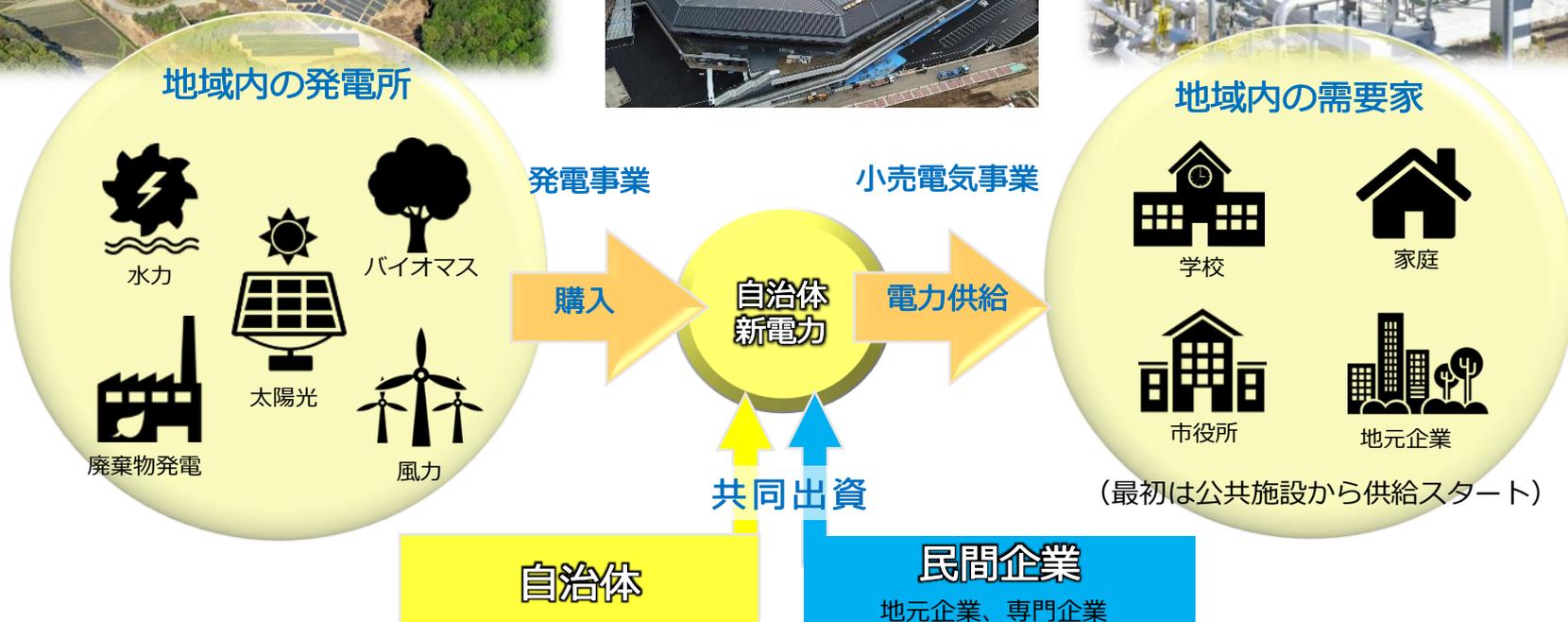
2 再生可能エネルギー普及事業

② 亀岡ふるさとエナジー(株)

京都・亀岡メガソーラー発電所

京都スタジアム発電所

消化ガス発電所（年谷）



設立、供給開始

2018年1月31日設立、2018年4月から供給開始

買取後の供給電源構成

日本卸電力取引所（JEPX） 約36%
太陽光発電等（再生可能エネルギー） 約64%

➤ 「かめおかプラスチックごみゼロ宣言」 関連事業

- ① 亀岡市プラスチック製レジ袋提供禁止審査会
- ② 環境政策情報発信・交流拠点施設 整備概要
- ③ かめおか保津川エコツアー等支援事業
- ④ 企業・団体等とのパートナーシップ連携等

かめおかプラスチックごみゼロ宣言」関連事業

① 亀岡市プラスチック製レジ袋提供禁止審査会

■主な内容

亀岡市プラスチック製レジ袋の提供禁止に関する条例に違反者の公表について市長の諮問に応じ、調査し、または審議する。

■委員数

3人（弁護士、学識経験者、市民）

プラスチック製レジ袋の提供禁止に関する条例（抜粋）

（指導及び助言）

第10条 市長は、プラスチック製レジ袋の提供禁止等の取組を推進するため、市民等及び事業者に対し必要な指導及び助言を行うこととする。

（立入調査等）

第11条 市長は、この条例の施行に必要な限度において、当該職員に事業所等に立ち入り、必要な調査をさせ、又は事業者に対し、必要な報告を求めることができる。

（勧告）

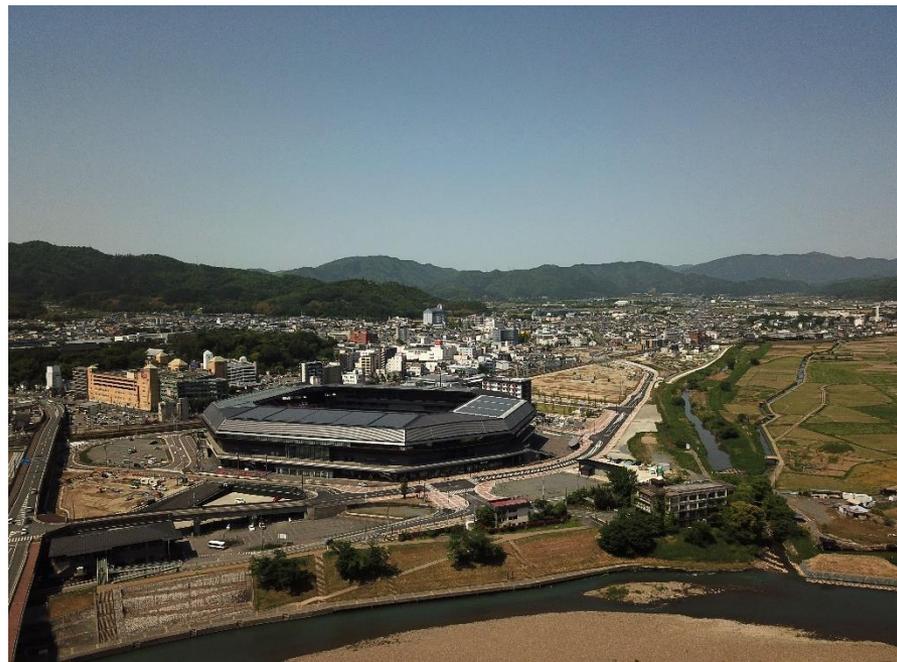
第12条 市長は、第5条第1項及び第2項に違反した事業者に対し、期限を定め、その是正のために必要な措置を講ずるよう勧告することができる。

（違反者の公表）

第13条 市長は、事業者が正当な理由なく第11条第1項の規定による立入りを拒み、若しくは同項の規定に違反して報告をせず、若しくは虚偽の報告をし、又は前条の勧告に従わないときは、その旨を公表することができる。

■設置目的

『世界に誇れる環境先進都市』を実現するため、「海洋汚染問題に立ち上がる意識のつながりを呼びかける」ことや、「世界最先端の『環境先進都市・亀岡市』のブランド力向上」を目指し、各種施策を広く発信するとともに、「環境」の下に多くの人々が集い、交流し、つながることで「環境先進都市・亀岡市」が世界に広がることを目的に拠点施設を整備します。



R 3

- ・建物調査
- ・基本構想策定
- ・実施設計

R 4

- ・工事実施

かめおかプラスチックごみゼロ宣言」関連事業

③ かめおか保津川エコツアー等支援事業

■事業概要

使い捨てプラスチックに係るポイ捨てごみの削減及び景観保全のために、保津川における河川ごみの漂着実態を身近に体感できるエコツアー等を企画・運営する事業者へ、その経費を補助。

■対象者：保津川遊船企業組合

①「かめおか保津川エコna川下り」



②「郷土愛を育むエコラフティング（モデル事業）」 ※ 来年度以降、亀岡市立小学校4年生全員を対象に 「保津川環境・ふるさと学習」として実施予定。



かめおかプラスチックごみゼロ宣言」関連事業

④ 企業・団体等とのパートナーシップ連携等



亀岡市



かめおか未来づくり環境パートナーシップ協定
(2021年4月9日)



- ▶ 無料給水スポットの情報発信及び啓発／啓蒙活動 など

かめおか未来づくり環境パートナーシップ協定
(2021年6月3日)



- ▶ 次世代に向けたマイボトル持参意識の醸成 など

その他

一生涯のパートナー

第一生命



- ▶ 自治体との連携（環境面）
- ▶ 給水スポット拡大事業PR



順次、連携先拡大中！

④ 企業・団体等とのパートナーシップ連携等 mymizu（一般社団法人Social Innovation Japan）

mymizuは使い捨てプラスチック消費を減らすことを始め、人々の消費行動を持続不可能から環境に責任を持つものに変えることをミッションとしています。

無料で給水できる場所を簡単に探せる日本初アプリの開発等を通し、多くの人にサステナビリティや環境保護の重要性について考えてもらうきっかけを作り、新たな社会の波を起こすことに取り組んでいます。



14 LIFE BELOW WATER

SDGs Goal #14

なぜ重要な?
Why is it important?

年間のCO2の排出量の23%は海洋が吸収しているため、気候変動の緩和に役立っている
23% of the annual CO2 emissions are absorbed by the ocean which helps alleviate climate change

2050年までに海のプラスチックの量が魚の生物量を超えると推定されている
By 2050, it is estimated that there will be more plastic than fish in the oceans

Sources: sdgs.un.org, conservation.org

mymizu

引用) <https://twitter.com/mymizuco/status/1391317117568421892>

亀岡市との協定を元に、市内のmymizu給水パートナー(給水スポットとしてmymizuプラットフォームに登録されている飲食店やお店など)を含む給水スポットを増やしつつ、マイボトル持参の意識啓発活動やよりサステナブルなライフスタイルの提案を目指します。



④ 企業・団体等とのパートナーシップ連携等 ウォータースタンド株式会社

水道直結のウォーターサーバー「ウォータースタンド」は、いつでも安心安全な飲料水が使える利便性の高さと、運搬や使い捨て容器を必要としないエコな給水システムが支持されています。

環境負荷の少ない方法で、誰もが安心安全な飲料水にアクセスできる環境を整備し、マイボトル活用を推進する「給水スタンド」活動に取り組んでいます。

引用: https://waterstand.co.jp/csr/esg/pact_20210126_tatebayashi.html





かめおか未来づくり 環境パートナーシップ協定



亀岡市と亀岡市議会は、2018年12月13日に「かめおかプラスチックごみゼロ宣言」を発信しました。この宣言により、2030年までに使い捨てプラスチックごみゼロを目指すとともに、自然環境の保全と地域経済の活性化に一体的に取り組む「世界に誇れる環境先進都市」の実現を目指します。
 このまちの未来づくりに向けては、持続可能な開発目標（SDGs）の「環境・経済・社会の三側面の統合的取組の推進」というビジョンのもとに、多くの事業者とパートナーとして連携を進め、地域資源を活用した新たな価値の創出による持続可能なまちづくりに取り組む必要があります。
 ウォータースタンド株式会社は、この主旨に賛同し、亀岡市の未来づくりに向けたパートナーとして、事業活動を通じて、経済的・社会的価値を創造しながら、環境に配慮した取組を進めます。

【亀岡市のSDGsに向けた取組】

- プラスチックごみ削減に向けた意識啓発
- マイボトル・マイバッグの普及促進及びペットボトル等の使い捨てプラスチック製品の使用抑制に向けた取組の推進
- 市民・事業者との連携による使い捨てプラスチックごみ削減に向けた取組の推進
- 本協定に基づく取組の市内外への周知
- かめおか未来づくりプラットフォームの形成による、事業者間の情報共有と新たな関係の構築
- 各企業、団体及び自治体等と連携した取組の横展開や情報発信力の強化
- かめおか未来づくりパートナー提携事業者とともに進める「世界に誇れる環境先進都市・亀岡市」の実現

【亀岡市教育委員会のSDGsに向けた取組】

- 環境学習の一環として、マイボトル・マイバッグ持参の取組を推進し、亀岡の子どもたちからプラスチックごみ削減の推進を発信

【ウォータースタンド株式会社のSDGsに向けた取組】

- 亀岡市の実施する事業等への協力及びプラスチックごみの削減の推進
- 市民・事業者との連携によるプラスチックごみ削減及びプラスチック問題の解決に向けた取組への参加並びに知見及び技術等の提供
- 次世代に向けたマイボトル持参意識の醸成

令和3年6月3日

ウォータースタンド株式会社
代表取締役 本多 珂

亀岡市長 桂川 孝裕

亀岡市教育委員会
教育長 神光 宏彰

